

横浜市立万騎が原中学校 学校だより



# 桐の花

令和5年  
10月25日

校長 綿貫 芳人

横浜市旭区万騎が原 31 TEL 045-391-5514 FAX 045-391-5537

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/makigahara/index.cfm>

## 歌声から感じたこと

校長 綿貫 芳人

少し前までは湿気を含んでいた風が急速にさわやかになり、すっかり秋を感じられるようになってきました。インフルエンザの感染状況も、現在はだいぶ落ち着いた状況になりました。様々な変更之际、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。この場をお借りして感謝申し上げます。

さて、10月20日（金）、23日（月）に桐花祭が実施されました。直前にインフルエンザの感染が拡大し、ここまでの道のりは大変でした。学級閉鎖を余儀なくされ、クラスでの練習もままならないまま本番を迎えたクラスもありました。100%の実力が発揮できなくて悔しい思いをした生徒や、直前にインフルエンザ等で当日に欠席を余儀なくされた生徒のことを思うとつらい気持ちになりました。しかし、そういった状況においても各学年、各学級での発表はそれぞれに心を打つものがありました。

1年生は、中学校で初めての合唱コンクールでした。最初はまとまらなかったところから時間が経つにつれて少しずつ心に変化が生まれて、最後はみんなでいい発表をしようという気持ちが伝わってきました。音楽科の講評の中で、「自分のクラスの曲が好きになった人？」という質問に多くの生徒が手を挙げている光景が印象的でした。

2年生は、中堅学年としての経験が十分に発揮されていました。また、一人ひとりの歌っている表情や雰囲気から「真剣」という言葉が伝わってきました。やる時はやる、本番は強い、そんなパワーを感じさせてくれました。来年度がとても楽しみです。

3年生は、最高学年として圧倒的な歌声を体育館に響かせてくれました。ただ歌っているのではなく、一人ひとりが曲に表情をつけ、表現豊かに歌っていました。曲のメッセージを奥深いところまで丁寧に感じ取って伸び伸びと歌っていました。3年生の「感性の豊かさ」があふれた発表でした。

インフルエンザが流行し、クラスで練習ができたのが前日の19日（木）でした。6時間目に全校で歌声が響いているあの時間は、全校行事としての醍醐味を感じました。また、それぞれの学級担任一人ひとりが、生徒たちに息吹を吹き込んでいる姿は、まさに崇高な教育活動そのものに見えました。以前にも学校だよりでお伝えしましたが、学校で作り出す「非日常体験」は、生徒たちを大きく成長させる絶好の機会です。ワクワク体験、自分の役割の確認、他者とのコミュニケーションなどを通して、きっとまた一歩成長したことと思います。

歌は人の心を映します。万騎中の良さが伝わる行事でした。全教職員、全生徒に拍手です！